



『ぱんだより』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第77号(2011年4月28日)「中国市場動向2011年3月」



過去最高水準の外貨準備高

中国人民銀行(中央銀行)は、4月14日に2011年第1四半期末の外貨準備高が3兆447億米ドルになったと発表しました。外貨準備高が3兆米ドルを超え、中国は世界最大の外貨保有国の地位を得ました。本レポート「ぱんだより」第76号で紹介したように、2011年に入ってから、中国の貿易収支が縮小傾向になっています。しかし、中国への成長期待や人民元切り上げへの期待が高まることにより、資本収支の黒字が拡大してきました。中国人民銀行は、人民元の対米ドルレートを低水準に保つために為替介入を継続してきた結果、外貨準備高がこの水準まで達したと考えられます。

4月20日、中国中央ラジオ局の報道によると、中国人民銀行の周小川総裁が「今の外貨準備高は適切なレベルを超えた」と発言しました。周総裁がこのような発言するのはかなり異例のことであり、今後動向を注意深く見ていきたいと考えております。また、直近中国の国内インフレ傾向が強くなったことや、国際商品市況の高騰による輸入インフレの影響が拡大したことなどから、インフレを抑制するため、人民元の切り上げは加速する可能性が高まると考えております。



出所: 中国人民銀行



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



国際金融センターへ

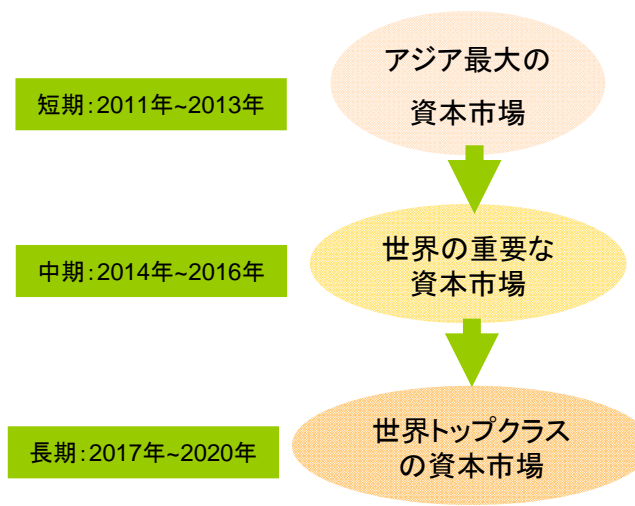
人民元を巡る改革が進んでいくと同時に、中国国内の金融市場の改革も着実に進んでいます。

2009年中国国務院(内閣)が、2020年を目処に上海を国際金融センターとする建設推進案を発表しました。それに順応し、2010年末、上海証券取引所が「戦略プラン」を打ち出しました。(詳細は右の図)

2020年に上海証券取引所を世界トップクラスの資本市場にするという目標の実現に向けて、取引所の基礎インフラや運営制度の国際化を進めることが期待されるほか、外国企業の中国本土上場(国際ボード)の実現やQFII*の拡大が当局の急務となっています。今後ますます、世界中から注目されていくと考えられます。

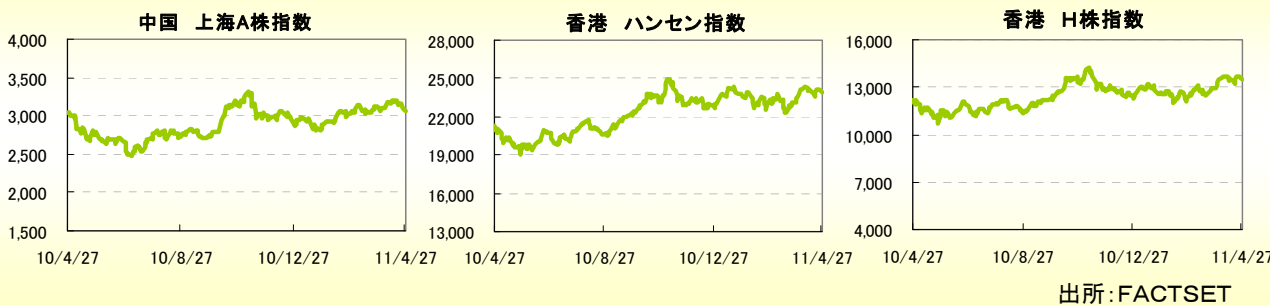
*QFIIとは、指定した海外の優良金融機関にだけ、中国金融市場での取り次ぎや参加を認めようという制度です。

上海証券取引所の戦略プラン



出所: 上海証券取引所よりスパークス・アセット・マネジメント作成

《主要株価推移》(各市場の直近1年間)



(編集後記) 株式売買代金を見ると、上海証券取引所は2009年、2010年とも東京証券取引所を抜いて、世界3番目の証券市場となっています。今後は、規模だけではなく、外国企業や外国人投資家の参入を促すことが課題になると考えられます。

(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。